

R8 ソーシャルワーク実習 基本実習プログラム（基本 PG）

実習施設名：滋賀 県立近江学園	作成メンバー：地域支援係	作成日：2026 年 6 月 30 日
--------------------	--------------	---------------------

ソーシャルワーク実習 教育に含むべき事項 (国通知)		達成目標 (評価ガイド ライン) ※各達成目標 の具体例は行 動目標を参照	当該実習施設における実習の実施方法及び展開					指導上の留意点
			学生に求める事 前学習	具体的実習内容				
				SW 実践の場の理解 に関する内容	SWr の理解に関す る内容	SW 実践の理解に関 する内容	SW 実践の理解に関 する内容 (発展的)	
①	利用者やその関係者(家族・親族、友人等)、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成	(1)クライアント等と人間関係を形成するための基本的なコミュニケーションをとることができる	・糸賀著作物の閲覧 ・学園資料の閲覧 (HP など) ・コミュニケーション技法の確認 ・バイステックの7原則の確認	①施設の成り立ちについて説明を受ける ②施設が対象としている支援の必要な人たち (以下、CL) の特性と日々の生活について説明を受ける ③施設の組織、提供するサービスについて説明を受ける	①内外の会議、プロジェクト等に参加し、ソーシャルワーカー (以下、SWr) の立場や役割を観察、記録にまとめる ②職員の CL との関わりにおけるコミュニケーション技法を観察、記録にまとめる	①CL の生活場面に入り、CL や職員へ挨拶や自己紹介をおこなう ②職員の CL との関わりにおけるコミュニケーション技法を説明できる ③地域支援係事業 (短期入所、日中一時支援事業、居場所づくり事業、見学研修など) に参加する	①職員の CL との関わりからまとめたコミュニケーション技法を用いて CL との関わりを実践する ②内外の会議、プロジェクト等において、自分の考えを説明する	・実践的ケア基準 ・広報資料 ・PT 資料 ・地域支援係事業 (家族支援、短期入所、地域連携型短期入所事業、進路、日中一時支援：居場所づくり事業、見学研修など)
②	利用者やその関係者(家族・親族、友人等)との援助関係の形成	(2)クライアント等との援助関係を形成することができる	・福祉型障害児入所施設の機能と役割を調べる ・知的障害、発達障害の障害特性を調べる ・児童指導員の仕事を調べる	①福祉型障害児入所施設に入所する CL や家族の特性、傾向について説明を受ける ②知的障害、発達障害の障害特性について説明を受ける ③心理士講義、ソーシャルワーク講義のなかで、利用者の家族との関係構築の必要性について説明を受ける	①CL の障害特性や入所背景に基づいたSWrのアセスメントの視点について説明を受ける ②日常場面でおこなわれる職員とCLの面接場面を観察し、記録にまとめる	①心理士講義、ソーシャルワーク講義を通じて学んだ CL との関わり方の要点を説明できる ②職員とCLの課題解決に向けた関わり方の場面を観察もしくはは状況説明を受け、今後の援助過程について検討・報告し、職員より助言を受ける	① (①人間関係の形成：発展的内容①) と共通 ②自身のCLへの関わりにおいて、障害特性や課題の異なるCLへの関わり方の違いを説明する ③個別支援計画を作成し、その内容について具体的に説明をおこなう ④個別支援計画を作成したCLと、計画に基づいた課題解決のための関わりを実践する	・個別支援計画書 ・心理士講義 資料

③	利用者や地域の状況を理解し、その生活上の課題（ニーズ）の把握、支援計画の作成と実施及び評価	(4)クライアント、グループ、地域住民等のアセスメントを実施し、ニーズを明確にすることができる (5)地域アセスメントを実施し、地域の課題や問題解決に向けた目標を設定することができる (6)各種計画の様式を使用して計画を作成・策定及び実施することができる (7)各種計画の実施をモニタリングおよび評価することができる	・アセスメントに関するテキストの閲覧 ・知的障害、発達障害、虐待に関するテキストの閲覧	①各班・指導員室において児童個別ファイルを開覧し、CLの障害特性や課題について説明を受ける ②個別支援計画において、エンゲージメントからアセスメント、具体的支援の立案から実施、評価に至るまでの展開過程について説明を受ける ③園長講話ならびに事業報告書を開覧し、学園の役割について説明を受ける ④SW専任より学園のおこなっている地域支援（連携）としての取り組みについて説明を受ける	①CLの成育歴とCLを取り巻く環境に基づいたSWrのアセスメントの視点について説明を受ける ②班会に出席し、個別支援計画の策定や、それに基づいた支援の評価、見直しの展開過程を観察する。その場におけるSWrの役割を観察する ③自立支援室会議、圏域自立支援協議会会議に参加し、地域ニーズについてSWrから説明を受ける ④圏域相談支援事業所、自立支援協議会事務局への訪問をおこなう	①個別支援計画作成に向け、CLのニーズ把握を目的とした関わりを実践する ②個別支援計画作成に必要な情報収集（心理士、看護師等）を実践する ③地域アセスメントを考察し、記録に記載する	①（①人間関係の形成：発展的内容①）と共通 ②（②援助関係の形成：発展的内容③）と共通 ③個別支援計画作成から評価までの一連の過程を実習指導者に報告し、評価をうける	・児童個別ファイル ・個別支援計画書 ・園長講話資料 ・事業報告書 ・地域支援係業務（地域連携型短期入所事業、日中一時支援：居場所づくり事業）
④	利用者やその関係者（家族・親族、友人等）への権利擁護活動とその評価	(3)クライアントの権利擁護及びエンパワメントを含む実践を行い、評価することができる	・社会福祉士の倫理綱領の閲覧 ・学園資料の閲覧	①CLの意思表示やアドボケイトについて、学園としての取り組みや支援内容について説明を受ける ②苦情解決システム、第三者評価について説明を受ける	①権利擁護委員会に同席し、CLの意思表示やアドボケイトを職員がどのように実践しているかを観察、記録にまとめる ②日常生活場面において、職員のエンパワメントの視点に基づいたCLへの支援を観察する	①日常生活場面において、職員のエンパワメントの視点に基づいたCLへの支援を過去の事例を基に考察し記録にまとめる	①CLへのエンパワメントの視点に基づいた支援を実践する	・実践的ケア基準 ・子どもの権利ノート ・苦情解決・第三者評価書 ・園生幸福度調査（報告書、調査票など）

⑤	多職種連携及びチームアプローチの実践的理解	(8)実習施設・機関等の各職種の機能と役割を説明することができる	・ 学園資料の閲覧 ・ 福祉圏域システムに関する資料の閲覧	①各職種の機能と役割、科、係、各会議の機能と役割について説明を受ける ・ 児童発達支援管理責任者の業務について ・ 近江学園のソーシャルワークについて ・ 医務室の業務について ・ 心理士の業務について	①各種会議・PTに参加し、多職種連携によるチームアプローチ・合意形成に向けた実践及びそこでのSWrの役割を観察する	①各種会議・PTに参加し、考察した自分の意見を実習指導者に伝える	①各種会議・PTに参加し、意見を求められた際には自分の意見を発表する	・ 各講義資料（サビ管／児発管講義、SW講義、医務室講義、心理士講義、栄養士講義など） ・ 地域支援係事業（地域連携型短期入所事業、進路、日中一時支援：居場所づくり事業、見学研修など）	
		(9)実習施設・機関等と関係する社会資源の機能と役割を説明することができる			②学園内における各職種の連携や協働の実践について説明を受ける	②圏域自立支援協議会、進路検討会議等に出席し各種関係機関の役割を観察した上で、SWrの関係機関との連携の実践を観察する	②各種会議・PTに参加し、会議録を作成し実習指導者に報告する		②地域支援係事業（居場所づくり事業等）の企画検討の場に参加し、自分の意見を発表する
		(10)地域住民、関係者、関係機関等と連携・協働することができる			③学園と地域社会資源の連携や実践について説明を受ける				③チームアプローチの場面を観察し、チームにおけるSWrの役割と各者の役割をまとめ、実習指導者へ報告する
		(11)各種会議を企画・運営することができる							
⑥	当該実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ	(12)地域社会における実習施設・機関等の役割を説明することができる	・ 学園資料の閲覧	①（③ニーズの把握、支援計画の作成と実施及び評価：場の理解に関する内容③）と共通	①学園のSWrがおこなっている地域支援（連携）の実践内容について説明を受ける	①各種会議、PTに同行し、地域支援におけるニーズを実習指導者と検討する	①地域支援（連携）におけるニーズに対する学園での支援展開について検討、報告書をまとめる	・ 業務報告 ・ 各種会議資料 ・ 地域支援係事業（家族支援、短期入所地域連携型短期入所事業、進路、日中一時支援：居場所づくり事業、実習受け入れ、見学研修など）	
		(13)地域住民や団体、施設、機関等に働きかけることができる		②（⑤多職種連携及びチームアプローチ：場の理解に関する内容①）と共通 ③（③ニーズの把握、支援計画の作成と実施及び評価：場の理解に関する内容④）と共通 ④学園のCLと地域のつながりについて説明を受ける（利用者への支援）	②（⑤多職種連携及びチームアプローチ：SWrの理解に関する内容②）と共通。 ③卒園生アフター会議等を通じてSWrとCLの関わりや支援について説明を受ける		②（⑤多職種連携及びチームアプローチ：S発展的内容①）と共通		

⑦	地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解	(14)地域における分野横断的・業種横断的な社会資源について説明し、問題解決への活用や新たな開発を検討することができる	・学園資料の閲覧 ・糸賀著作物の閲覧	① 学園の成り立ちから社会資源との関係形成の在り方について、学園の基本方針の観点を基に説明を受ける ② 入所児の生活状況や学園の取り組む事業内容を踏まえて、社会資源の活用・開発の必要性について説明を受ける	① 子家相(県)、子家室(市町)、行政、学校、計画相談支援、サービス調整会議などとの連携のなかでSWrの役割について説明する	① 学園と連携している社会資源を整理し、記録にまとめる ② 個別支援計画を作成する際に、社会資源の活用について考察を行い、計画に反映させる ③ 新たな社会資源の開発について考察し記録にまとめる	① 学園の連携している社会資源とその内容について、実習報告会にて説明する ② 新たな社会資源の開発について考察した内容を実習指導者へ報告し、評価を受ける	・業務報告 ・個別支援計画書 ・地域支援係事業(短期入所、地域連携型短期入所事業、進路、日中一時支援：居場所づくり事業など)
⑧	施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際(チームマネジメントや人材管理の理解を含む)	(15)実習施設・機関等の经营理念や戦略を分析に基づいて説明することができる (16)実習施設・機関等の法的根拠、財政、運営方法等を説明することができる	法令の閲覧 ・児童福祉法 ・障害者総合支援法	① 学園の事業計画・報告を閲覧する ② 法律に基づく障害者ならびに社会的養護を取り巻く状況について説明を受ける ③ 各種会議、PTの現状と進行過程について説明を受ける	① 福祉型障害児入所施設におけるチームマネジメントの必要性を踏まえ、学園でのチームマネジメントのためのSWrの実践について説明を受ける ② 障害者施策、社会的擁護を取り巻く法制度を基にSWrの実践について説明を受ける	① 福祉型障害児入所施設におけるチームマネジメントの必要性について考察し、記録にまとめる ② 施設を取り巻く現状を踏まえ、福祉型障害児入所施設の今後の在り方やSWrが担う実践について考察し、記録にまとめる	① 福祉型障害児入所施設におけるチームマネジメントの必要性について実践報告会にて報告する ② 施設を取り巻く現状を踏まえ、福祉型障害児入所施設の今後の在り方やSWrが担う実践について考察し、実習指導者に報告する	・業務報告 ・建て替えに関する資料 ・研究担当業務資料 ・地域支援係事業(Helm team、PECS研修、地域連携型短期入所事業、日中一時支援：居場所づくり事業、見学研修など)
⑨	社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任の理解	(17)実習施設・機関等における社会福祉士の倫理に基づいた実践及びジレンマの解決を適切に行うことができる (18)実習施設・機関等の規則等について説明することができる	・社会福祉士の倫理綱領の閲覧	① 学園の倫理綱領について説明を受ける ② 個人情報保護のための取り組みについて説明を受ける ③ 学園の実践的ケア基準について説明を受ける	① 会議、PT、日常場面におけるSWrのチームアプローチ場面・課題解決過程を観察する ② 社会福祉士としての倫理についてSWrから説明を受ける	① SWrの実践における倫理的ジレンマが生じた場面についてSWrへヒアリングをおこない、記録にまとめる ② 会議、PT、日常場面に参加し、チームアプローチや課題解決過程におけるSWrの倫理判断に基づく行為を発見し記録にまとめる	① SWrへのヒアリングから挙げられた倫理的ジレンマについて、実習生の立場で考察し、実習指導者へ報告する ② 会議、PTへの参加時に意見を求められた際に、SWrの専門性や立場に留意した発言をおこなう	・社会福祉士の倫理綱領 ・各種会議資料 ・実習指導者テキスト ・実践的ケア基準

	1	アウトリーチ	(19)以下の技術について目的、方法、留意点について説明することができる	・各種用語について調べる	① 学園が取り組んでいる地域支援（連携）に関する事業の概要ならびにその理念について説明を受ける	① 会議、PT、関連事業へ同行し SW r の活動を観察する。また、関係者との関わりについて説明を受ける（圏域相談支援事業所（主に基幹）の訪問・聞き取りなど）	① 学園のアウトリーチ実践における目的や方法を整理し、記録にまとめる ② 過去の事例を含めてアウトリーチ実践の際に生じる課題について考察し、記録にまとめる	① 学園のアウトリーチ実践における目的や方法を整理し、考察した課題も含めて実習指導者に説明する	・各種会議資料 ・地域支援係（家族支援、進路、短期入所、地域連携型短期入所事業、日中一時支援：居場所づくり事業、見学研修など）
	2	ネットワークング			① 圏域の社会資源や障害者を取り巻く状況を理解したうえでネットワーク構築の必要性について説明を受ける	① 多職種間との連携における SW r のネットワーク構築への取り組みを説明する	① 他機関とのネットワーク構築の展開過程におけるそれぞれの役割を明確にし、学園の立場について考察をおこない、記録にまとめる	① 他機関とのネットワーク構築の展開過程におけるそれぞれの役割を明確にし、学園の立場について考察をおこない、実習指導者に報告する	
	3	コーディネーション			① 各種会議、PT におけるコーディネーションの必要性について説明を受ける	① 各種会議、PT において SW r のコーディネーション場面を観察する	① SW r の観察を踏まえて、SW r のコーディネーションの必要性、留意点を考察し、記録にまとめる	① SW r の観察を踏まえて、SW r のコーディネーションの必要性、留意点を実習指導者に報告する	
	4	ネゴシエーション			① 各種会議、PT におけるネゴシエーションの必要性について説明を受ける	① 各種会議、PT において SW r のネゴシエーション場面を観察する	① SW r の観察を踏まえて、SW r のネゴシエーションの必要性、留意点を考察し、記録にまとめる	① SW r の観察を踏まえて、SW r のネゴシエーションの必要性、留意点を実習指導者に報告する	
	5	ファシリテーション			① 各種会議、PT におけるファシリテーションの必要性について説明を受ける	① 各種会議、PT において SW r のファシリテーション場面を観察する	① SW r の観察を踏まえて、SW r のファシリテーションの必要性、留意点を考察し、記録にまとめる	① SW r の観察を踏まえて、SW r のファシリテーションの必要性、留意点を実習指導者に報告する	
	6	プレゼンテーション			① 各種会議、PT におけるプレゼンテーションの必要性について説明を受ける	① 各種会議、PT において SW r のプレゼンテーション場面を観察する	① SW r の観察を踏まえて、SW r のプレゼンテーションの必要性、留意点を考察し、記録にまとめる	① SW r の観察を踏まえて、SW r のプレゼンテーションの必要性、留意点を実習指導者に報告する	

	7	ソーシャルアクション			①現在、学園にて行われているソーシャルアクション実践について説明を受ける	①現在、学園にて行われているソーシャルアクション実践について、SW r が担った役割について説明を受ける	①障害福祉分野における現状やニーズを考察し、記録にまとめる ②障害福祉分野における今後求められるソーシャルアクションとは何かを考察し、記録にまとめる	①考察したソーシャルアクションについて、実習指導者に報告し評価を得る	
当園のソーシャルワーク実習の特色		(R8 年度) ・当園にはSW専任職員が配置されており、入所施設でありながらSW専任職員の動きを基本として実習を行うことができます。 ・SW専任職員を実習担当とすることで、日常的にSVが得られやすい環境のなかで実習を行うことができます。 ・SW専任職員をはじめとして心理士、看護師、栄養士等の専門職が配置されており、同一施設内における多職種連携を学ぶことができます。 ・当園は3次機関（県立県営の施設）であり、滋賀県下の全圏域を対象とした他機関・多職種連携を学ぶことができます。 ・県事業として地域連携型短期入所事業の取り組みを行っており、地域に暮らす障害のある児童とその家族に対する支援を学ぶことができます。 ・コミュニケーション支援を重点事項として設定。PECSを中心とした支援技法の組織的な導入を行っており、支援技法が実際の現場で活用される場面をみることができます。 ・係横断的な内部組織（Helm team：学園内部の所属に縛られない多職種チームを編成し、対象児童への支援を検討するもの）による支援を行っており、施設内におけるチームビルディングとその運用を学ぶことができます。 ・児童の特性や目的に応じて設計された3タイプのユニット、年齢や特性の異なる児童集団（生活班）のなかで各々の特色を学ぶことができます。							